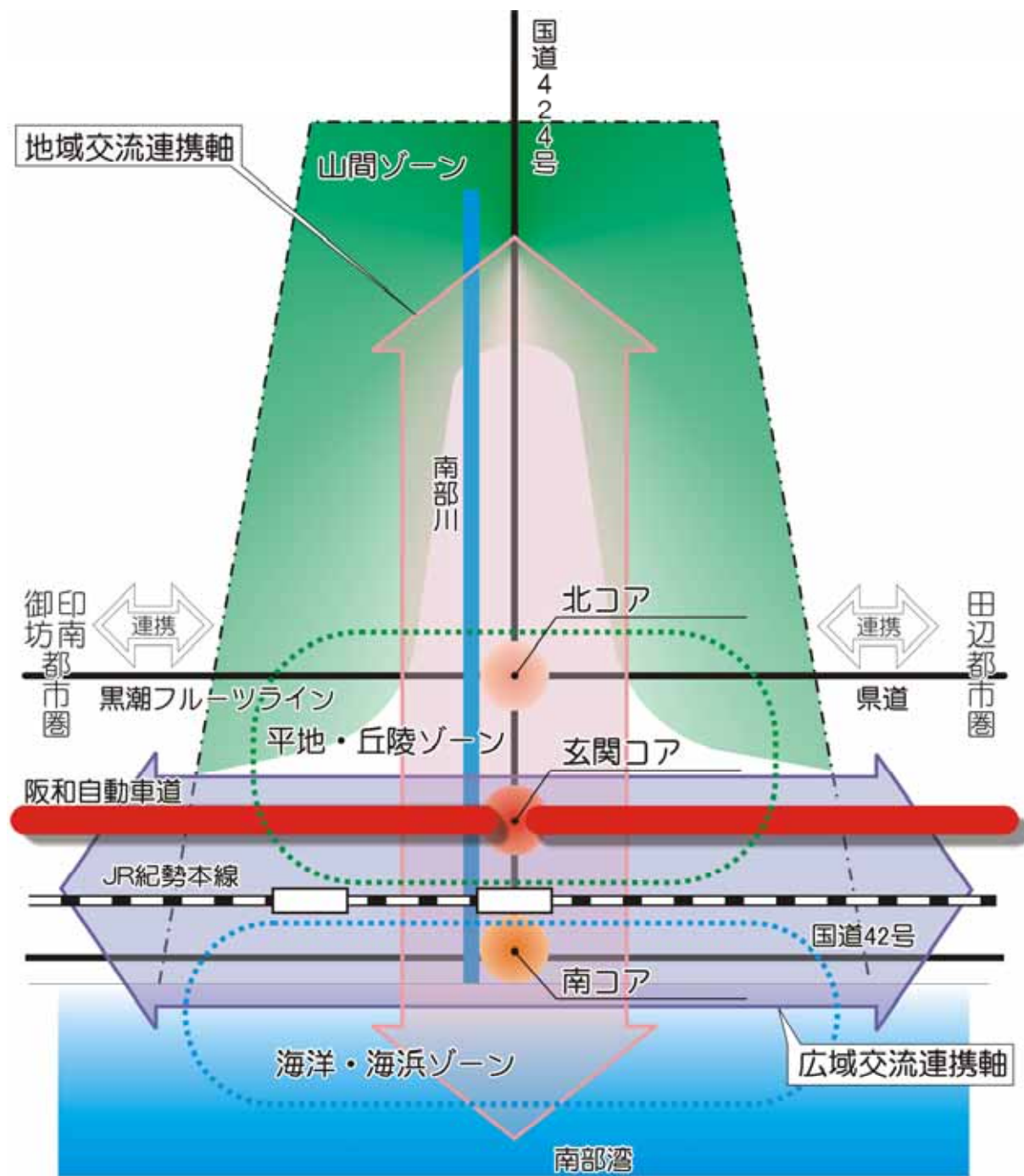


第3章 みなべ町の将来地域構造

本町の地域構造は、まちの軸として「地域交流連携軸」、「広域交流連携軸」の2軸、ゾーンとして「海洋・海浜ゾーン」、「平地・丘陵ゾーン」、「山間ゾーン」の3ゾーンからなり、軸の整備とゾーンの保全・整備を図りつつ、隣接都市圏の「田辺都市圏」、「御坊・印南都市圏」と連携することにより、みなべ町の将来像を実現していきます。

図 みなべ町の将来地域構造



コア

まちとしての活力や町民の生活機能などを担う地域の拠点。

[北コア]

第二庁舎周辺において産業支援機能などを整備し産業の振興を図る拠点とします。

[玄関コア]

阪和自動車道周辺において地域の玄関口にふさわしい機能集積を促進するなど交流拠点とします。

[南コア]

JR 南部駅周辺における公益施設の集積を生かし文化の振興を図る拠点とします。

ゾーン

土地利用を総合的かつ適切に進めていくための、地域の土地利用特性をもとにした空間のおおまかな区分。

[山間ゾーン]

自然環境の保全・再生により山間ゾーンの持つ公益的機能を高め、産業・生活に活用します。

[平地・丘陵ゾーン]

農、工、商、住宅など多様な土地利用を調和させつつ、効率的な空間活用を進めます。

[海洋・海浜ゾーン]

流域及び海岸線の環境の保全・再生により、美しい海を維持し、産業・生活に活用します。

軸

地域を貫く都市機能、交通機能や自然環境で町内や周辺都市との連携や交流などの機能を持つ。

[地域交流連携軸]

梅、炭、魚などの産業、海、山の自然、文化の交流・連携により、町の活性化を図ります。

[広域交流連携軸]

田辺、御坊・印南都市圏等と連携し、相互補完するとともに紀南地域全体の発展を目指します。